

並木2丁目自治会 会員各位

空き巣被害を防ぐために、マーキングの実例と対策方法について

昨今、関東地方で空き巣/強盗被害が多発しており、その手口として「マーキング」が確認されています。これは、犯人が特定の符号や印を使って狙う家を示す方法です。以下に、マーキングの実例とその対策方法をお知らせいたします

マーキングの実例

- ・ インターホンやポスト、家の壁等にシールを貼る/文字や記号を描く :
⇒ 犯人が偵察の結果を記号として残し、住民の不在や防犯対策の有無を示します
- ・ ゴミや紙片を投げ込む :
⇒ 家の前にゴミや紙片が一定期間残っているかを確認し、不在の家を判断します
- ・ 花や植木の配置を変える :
⇒ 庭の花や植木の位置をわずかに動かし、住民の気付き具合をチェックします

対策方法

家の周囲やポスト、玄関周りに**不審な印やゴミがないか定期的に確認**してください
見つけた場合は写真を撮り警察相談専用電話「#9110」番へ相談してください

参考（ALSOK 様ホームページより引用）

マーキングは
表札や郵便受けなどに空き巣がつけるマーク

W = 女性
M = 男性
F = ファミリー
S = 一人暮らし
○ = 入りやすい
× = 家に入れない
△ = 侵入できる可能性がある



WS1020 = 女性の一人暮らしで10時から20時まで不在 など

*

高齢者宅のお隣の方はついでに確認してあげてください！

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます

自治会長 小林